



全国保健師長会ニュース

令和8年10月 運営会議発行 No.2

令和8年度 第2回理事会報告

令和8年9月12日（土）、第2回理事会を会場及びZoomによるハイブリッド会議で開催しました。

1 前田会長あいさつ

はじめに、令和8年熊本地震ならびに各地で発生した豪雨災害により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、被災地において健康支援活動に尽力されている皆さまに深く敬意を表し、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

近年、全国各地で自然災害が頻発しており、健康危機への備えと対応力の強化がますます重要となっています。本会におきましても、昨年度末に設立された「全国災害時保健師等チーム協議会」などを通じ、災害時における保健師等の役割の明確化や支援体制の充実に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

また、本年5月には、「地域における保健師の保健活動について」が13年ぶりに改正されました。人口減少や少子高齢化が進行する中、地域の実情に応じた持続可能な保健活動の推進が求められており、保健師の確保・育成に加え、自治体の枠を超えた連携やICTの活用など、新たな視点を取り入れた取組の重要性が示されております。

さらに、今回の改正では「保健師のマネジメント」が新たに位置付けられ、統括保健師の役割やネットワーク構築の重要性が改めて示されました。保健師リーダーが互いにつながり、支え合いながら地域保健活動を推進していくことが、これまで以上に求められているものと認識しております。

本会は、保健師リーダー相互の連携と親睦を図り、地域住民の健康づくりと公衆衛生の向上に寄与することを目的としております。次代を担う保健師が希望と誇りを持って活躍できるよう、今後とも皆さまと力を合わせながら、地域保健活動のさらなる発展と継承に努めてまいりたいと存じます。

2 議事

(1) 第48回全国保健師長会代議員総会について

令和8年11月7日（土）に福岡県福岡市（アクロス福岡）で開催される代議員総会の議案（案）及び研修会等について説明がありました。今年度から初めて導入される電子投票については、事前テストにおいて事務局である福岡県の協力により、問題なく投票できたことが報告されました。また、印刷及び郵送に係る経費の増加等を踏まえ、代議員総会資料集については、会員の閲覧環境に配慮しながら、今後段階的に電子化を進めていくことが承認されました。

○代議員総会電子投票期間（予定）：令和8年10月31日（土）～11月7日（土）

○代議員総会資料電子化に向けた方針：

資料の形態	令和8年度	令和9年度	令和10年度
紙（資料集を郵送）	全会員	代議員	—
電子（HPに掲載）	—	代議員以外の会員	全会員

○研修会

基調講演「変化の時代に公衆衛生をどう実践するか ～未来を拓く保健師に伝えたいこと～」

北海道立衛生研究所所長・国立保健医療科学院名誉院長 曾根 智史 氏



(2) 「令和10年度地域保健施策および保健活動の推進に向けた国への要望」について

各部会、ブロック理事、支部の方々には、意見の集約をしていただきありがとうございました。いただいた御意見をもとに第3回国家要望に関する検討会で意見交換し、現在内容を検討しています。今年度は「人材育成・人材確保」、「母子保健及び児童福祉」、「健康危機管理」、「患者管理の統一」の分野において、要望事項をまとめたいと考えています。

統括保健師間ネットワーク推進特別委員会、健やか親子特別委員会、健康危機管理委員会、政令指定都市・中核市・特別区部会に御協力をいただき、要望内容をまとめていきます。

3 報告事項

(1) 50周年記念事業骨子（案）について

令和10年度に全国保健師長会が50周年を迎えることから、50周年記念事業特別委員会から、グランドコンセプト（テーマ、コンセプト等）、事業内容（案）、今後のスケジュール等について報告がありました。テーマについては会員投票で決定する案が提示され、今後はその具体的方法について委員会で検討することになりました。

○グランドコンセプトの考え方：40周年時のテーマ（「みる・つなぐ・動かす～保健師の原点から住民とともに創る未来～」）を大切にしつつ、次世代継承、グローバルな視点、多様化・複雑化する健康課題への挑戦、共創・発信等を新たな内容を盛り込む

○事業骨子（案）：キックオフイベント、記念式典・記念講演、記念誌作成、広報・ブランディング、ブロック別研修等

（2）第15回日本公衆衛生看護学会学術集会におけるワークショップについて

令和8年12月19日、20日に第15回日本公衆衛生看護学会学術集会（兵庫県神戸市（神戸国際会議場））にてワークショップを開催する予定です。皆様、是非ご参加ください。

○PHR（パーソナルヘルスレコード）を活用したこれからの地域保健活動 ～住民の健康データを地域支援につなぐ保健師の役割～
（学会学術に関する委員会主催）

○考えてみよう！災害時の受援と保健活動 支援を「受ける」から「活かす」へ（健康危機管理委員会主催）

○女性の健康づくりをどう進めるか～骨粗しょう症検診の実践とデータに基づいた保健事業設計から考える保健師の役割～
（健康日本21推進に関する特別委員会主催）



全国保健師長会ホームページ： <https://www.nacphn.jp/>



🌸 全国保健師長会ニュースは、ホームページの「こんな活動をしています」－「理事会・拡大常任委員会・常任理事会報告」のページに掲載しています。

作成：広報委員会